別紙１

庁内情報網システム基盤再構築及び保守業務委託
プロポーザルに係る提案書作成要領

１　目的

庁内情報網システム基盤再構築及び保守業務委託（以下「本事業」という。）に関するプロポーザルにおける、業務提案書の留意事項および構成等を定める。

２　全般的な留意事項

①提案者から提出された企画提案書に基づき評価を行い、記載内容に応じて採点する。このため、提案内容が具体的に伝わるように考え方や根拠等を詳細に記述すること。

②提案の内容については、仕様書および関係資料に記載された当組合の特性や現状を考慮し、具体性のある記述とすること。

③仕様書で提示した内容と異なる提案を行う場合については、変更点を明確にするとともに、その背景、考え方および提案の理由を明確に記述すること。

④仕様書および業務提案書に基づき契約書に添付する仕様書を作成するため、提案者が実現可能な範囲で記述すること。

⑤業務提案書は二次審査で利用することを前提に作成すること。

３　業務提案書の作成に係る基本事項

①図面等を除き、文字の大きさは原則 16 ポイント以上とすること。

②表紙と目次を含め、Ａ４横 80 ページ以内で作成し、ページ番号（連番）を付けること。

③提案内容が理解しやすいよう、簡潔でわかりやすい表現で記述すること。

④略語や専門用語等については、一般用語を用いて初出の箇所に定義を記述すること。また、理解しにくい用語や専門用語には脚注を付記すること。

⑤提示した仕様書の全面コピーおよび「仕様書のとおり」といった記述に終始しないこと。このような提案については、採用しない場合もあるため留意すること。

⑥提案書提出後の提出物の改変および追加資料の提出は認めない。

⑦上記の留意事項に則していない業務提案書については、採点しない場合もあるため留意すること。

4　業務提案書の構成

業務提案書の構成は下表のとおりとする。

項番	項目	記載事項
1.提案コンセプト		
1-1	仕様書等の理解	・本事業の目的を達成するための手法、考え方、取組み、運用方針について記述すること。
1-2	対応方針	・本事業の全体像について、イメージ図又は構成図等を用いて、本事業における導入範囲を詳細に記述すること。 ・本事業において想定される課題およびリスクに対する考え方や対処方法等について記述すること。
2.実施体制		
2-1	実施体制	・実施主体の事業者名、役割分担、要員、資格、事業体制（体制図）を明示し、その考え方や根拠等について記述すること。 ・構築時の体制および運用保守管理体制等について記述すること。 ・再委託先がある場合は、事業者名、役割分担、要員、資格、導入体制等について記述すること。 ・本事業を実現するために、当組合とどのように連携して本事業を遂行するのか、進捗管理、プロジェクト管理方法、コミュニケーション管理方法等について記述すること。
3.機能要件		
3-1	ローカルブレイクアウト	・設計方針について具体的に記述すること。 ・クラウドサービス（M365、Box）の接続及び連携方法について具体的に記述すること。 ・独自の提案がある場合は個別に記述すること。
3-2	庁内情報網基盤	・設計方針について具体的に記述すること。 ・独自の提案がある場合は個別に記述すること。
3-3	ネットワーク	・設計方針について具体的に記述すること。 ・新規導入機器の設計について個別に記述すること。 ・独自の提案がある場合は個別に記述すること。

４．セキュリティ要件		
4-1	セキュリティの考え方	・セキュリティ要件に対する対応方針について具体的に記述すること。
５.移行要件		
5-1	移行計画	・移行方法及びスケジュールについて具体的に記述すること。 ・移行にともなうリスク管理について記述すること。
６.保守・運用要件		
6-1	保守・運用体制	・運用期間における保守や運用の体制について具体的に記述すること。
6-2	障害対応・監視・ログ管理	・障害発生から解決までの対応や問合せ方法について具体的に記述すること。 ・監視・ログ管理の方法について具体的に記述すること。
７.業務継続要件		
7-1	令和 10 年度機器更新	・令和10年度に実施するネットワーク機器の導入経費（構築経費及び機器経費）の概算を示すこと。